

平成 27 年度第 3 回半田市図書館協議会議事録

開催日時	平成 27 年 10 月 15 日 (木)	10 時 00 分～ 11 時 05 分
開催場所	図書館第 3 会議室	
会議次第	【議題】 (1) 子ども読書活動推進計画(後期 5 か年)について (2) 魅力ある図書館づくり(答申内容の確認)について (3) その他	
出席委員：6 名出席 (欠席委員：4 名欠席)	(委員) 前田佳男、本美信一、渥美隆、山田雅子、藤村敏子、鈴木仁美 (新海伸誓、山本幸夫、畑野園江、榎本悦子) ※敬称略	
事務局	図書館長 間瀬直人、亀崎図書館長 榊原雅子 副主幹 石川稔、戸田豊志、田村元成 書記 水野理絵	
その他出席職員	教育長 加来 正晴、教育部長 小坂和正	
傍聴人	1 名	
次 第	議 事 概 要	
事務局	ただいまより、平成 27 年度第 3 回図書館協議会を開催します。本日は、10 名中 6 名の方が出席となっております。また、傍聴人が 1 名いらっしゃいます。	
事務局	最初に、教育長よりご挨拶申し上げます。	
【あいさつ】	(教育長) 委員の皆様には、早朝からのご出席ありがとうございます。子ども読書活動推進計画(後期 5 年間)の改訂にあたり、皆様からいろいろなご意見を頂きたいと思っております。このアンケートの結果で小中学生の「読書が好き」と答えた割合が、5 年前より小学生で 21 ポイント、中学生で 5 ポイントほど上昇しています。これは皆様の努力のおかげであり、また半田	

	<p>市立図書館と学校図書館の連携が良好である結果であると思います。</p> <p>「内外教育」という雑誌に岩手県の村の高校生が、小学生に読み聞かせを35年に渡って続けているという記事が載っていました。読み聞かせを通して、世代を超えた交流、地域の連携が進んでいるといことが、紹介されていました。</p> <p>また、先日PTAの研修会に出席いたしました。講師の坂口慶さんという方にいろいろな読み聞かせのテクニックを教わり大変ためになりました。</p> <p>もう一点、中日新聞に「TSUTAYA図書館が各地で論議」という記事が掲載されていました。小牧市でも住民投票で否決されました。元鳥取県知事の片山氏は「公共図書館は、単なる人集めの施設ではなく必要な人が必要なときに機能する施設であってほしい。」と言っています。一方で、推進派の意見もあり、「多くの人々が公共施設を利用する機会を生み出し、地域の交流の場になった」という肯定的な意見もあります。</p> <p>どのような形が魅力ある図書館なのかは、この会で議論を深めていただきたいと思います。</p>
<p>【議題】(1) 子ども読書活動推進計画（後期5か年）について</p>	<p>(事務局) 進行は、前田会長にお願いしたいと思えます。</p> <p>(会長) 議題に沿って進めていきたいと思えます。</p> <p>(事務局) 子ども読書活動推進計画の改訂にあたり実施したアンケート調査の結果と計画の概要について報告いたします。</p> <p>【以下、「半田市子ども読書活動推進計画」(後期)案の冊子を参照】</p> <p>(委員) 学校での朝読などを行っているのですが、不読率はゼロに近いのではないかと思います。小学生の不読率が7.4パーセントというのは、どういことでしょうか。</p> <p>(事務局) 子ども自身が、自発的な読書ととらえていないのかもしれませんが。アンケートをそのまま集計</p>

すると、このような結果になりました。

(会長) 朝読が、子どもにとって義務的な行為ではなく、生きた読書になっているかが、大切なところです。

(委員) 児童センターで行っている読み聞かせなどの読書支援は、どのくらいの回数を行っているのでしょうか。これを充実させるとありますが具体的に教えてください。

また、他の市町の例ですが、小学校の図書館見学に合わせて貸出券を児童に交付しているそうです。半田市でも同様のことを行っていますか。

(館長) 博物館には市内の小学校3年生が、見学に来ますので、いっしょに図書館も見学してもらいますが、貸出券の交付は、登録手続きが必要なため行っていません。今後、新一年生を対象に貸出券を交付することを考えています。

(事務局) 読み聞かせの回数ですが、市内すべての児童センターで、月1～2回実施しています。充実についてですが、今後は、ボランティアとの調整や人材育成も含めて回数を増やす方策を考えていきたいです。

(委員) きりんの会も定期的に、児童センターで読み聞かせに参加しています。

(部長) 内容説明には「充実させる」とあるのに状況は「継続」となっているので、「拡充」に改めた方がよいのではないか。

(委員) 忙しい学校の先生のために、調べ学習に必要な本を学校に届けてくれるサービスがあればよいと思います。

(館長) 調べ学習のための本を50冊まで、職員が学校へ届けるサービスをすでに実施しています。

(会長) 対象が、0～18歳までとなっていますが、実際には0歳児にどのような働きかけをするのでしょうか。

(館長) 0歳児に読み聞かせをすると、本当に笑うそうです。それを見ると、お母さんも読み聞かせは大切なことだと実感します。

	<p>(事務局) 毎週金曜日には、乳幼児と保護者向けの読み聞かせ会を行っています。亀崎図書館でも、6月から月1回開催しています。</p> <p>(会長) 保護者に対しての啓発や働きかけは、大切だと思いますが、何か取組みを行っていますか。</p> <p>(館長) 読み聞かせ会への参加のほか、読み聞かせのやり方を教える絵本講座などを実施しています。</p> <p>(事務局) 当計画について、何かご意見があれば今月中にお願いします。</p>
<p>【議題】(2) 魅力ある図書館づくり (答申内容の確認) について</p>	<p>(会長) 第2回の協議会のときに、各委員の方からいただいたご意見を協議会として集約いたしました。(別紙参照) いろいろなご意見がありましたので、多く寄せられたものを中心に次回までに正式な答申としてまとめたいと思います。</p> <p>(委員) 来館が困難な方への宅配サービスは、いつごろを目途に始める予定ですか。</p> <p>(館長) 有料にした場合、往復の送料1000円が個人負担になるので、利用は少ないのではないかと考えています。代わりに返却時の利便性を高めるため市内にブックポストの増置を検討しています。</p> <p>また、自宅に居ながらにして利用でき、文字の拡大も容易にできる電子書籍も来館が困難な方には有効なサービスであると思っています。</p> <p>(会長) 答申の内容についてお気づきのことがありましたら事務局までお知らせください。</p>
<p>【議題】(3) その他</p>	<p>(館長) その他の項目についてですが、今年始めたサービスについて報告いたします。</p> <p>板山ふれあいセンターに「yotuba 文庫」の名称で貸出文庫を設置しました。500冊の蔵書でスタートしました。</p> <p>介護保険施設への本の宅配を始めました。司書が選んだ本を施設へ届けるとともに、希望があれば、読み聞かせや紙芝居の上演も行っています。</p> <p>(事務局) 来年度からEレファレンスを開始する予定です。これは、Eメールで調べものを受け付ける</p>

サービスで、込み入った内容の問い合わせにも正確に速く回答ができます。

(会長) 冒頭に教育長先生が、TSUTAYA図書館のことを言われましたが、小牧市を含めて図書館の指定管理の動向はどのような状態なのでしょう。

(館長) 武雄市から始まった、CCC(蔦屋書店を営する企業)による図書館運営は、不適切な蔵書の購入があったことなどが報じられ、住民訴訟にもなっています。小牧市で、新図書館構想が否決された背景には建設費の他に、こういったことも影響したと思われます。

全国的には、指定管理を導入した館は、全体の約15パーセントですが、図書館を指定管理にはしないと明言している自治体も7割近くに上ります。

民間が行っているサービスでもよいものは、積極的に取り入れるべきと考えます。

(会長) 他に意見がなければ、会を終えたいと思います。

(事務局) 第4回の協議会を2月上旬に予定しています。日程を調整して連絡させていただきます。

本日は、ありがとうございました。